

- 2月9日[金] 第一生命保険との包括連携協定締結
- 2月13日[火] 「かごしまの未来(あす)を語る」座談会
- 2月14日[水] 15日[木] 奄美群島などへの油状物質の漂着に関する環境副大臣との意見交換・知事現地視察
- 2月16日[金] 22日[木] みんなで巨大「西郷どん」を創ろう
- 2月25日[日] 鹿児島港湾湾道路整備事業 (鴨池中央港区線)着工式
- 3月4日[日] 都城志布志道路(有明北IC〜有明東IC)開通
- 3月12日[月] 本場大島鮫と鹿児島島の食を楽しむ夕べ開催
- 3月13日[火] 2018鹿児島焼酎フェスティバルTOKYO
- 3月20日[火] 知事による高等学校表彰
- 3月23日[金] 桜丘養護学校の知事視察
- 3月25日[日] 北薩横断道路(きさらぎIC〜中屋敷IC)開通
- 3月28日[水] 世界文化遺産VR・ARスマートフォンアプリ完成
- 3月28日[水] 鹿児島国際クルーズ拠点整備事業 平成30年度新規事業化決定
- 3月30日[金] かごしま未来創造ビジョン策定
- 3月30日[金] 再生可能エネルギー導入ビジョン2018策定
- 3月30日[金] 鹿児島県農林水産物輸出促進ビジョン策定
- 4月1日[日] 知事と語ろう車座対話(屋久島町)
- 4月7日[土] 「かごしまクルーズターミナル」供用開始

2/9 [金]

第一生命保険との包括連携協定締結



▲県庁で行われた連携協定締結式(左:櫻井副社長、右:三反園知事)

第一生命保険株式会社と九州で初めてとなる包括連携協定を締結しました。

4月12日には、今回の協定締結を記念し、健康増進に関する取り組みとして、がんに関する県民向け啓発セミナーが開催されました。

がん検診の重要性や本県のがん治療に関する体制などについて講話があり、700名以上の方が熱心に耳を傾けていました。

今後、健康増進のほか、女性の活躍促進、子育てや高齢者支援など9分野で、同社と協働しながら取り組みを進め、県民サービスの一層の向上に努めてまいります。



▲がんに関する県民向け啓発セミナー

2/13 [火]

「かごしまの未来(あす)を語る」座談会



▲三反園知事と高校生との意見交換

三反園知事が県立市来農芸高等学校を訪問し、約140人の生徒と座談会を行いました。

座談会では、まず、生徒を代表して3つのグループからこれまでの取り組みや研究成果について発表がありました。

その後、知事と将来の夢などについて意見交換を行い、高校生からは、「大学で専門的知識を身につけ、鹿児島島の農業の発展に貢献したい」、「野菜を使ったお菓子を作り、野菜のおいしさを伝えていきたい」といった夢が語られました。

知事は、「夢と希望と勇気と創造を持って、人生を大切に生きていってほしい」と未来の鹿児島島の農業を担う高校生にエールを送りました。



▲ツバキ班がツバキの新しい活用方法について発表

2/14[水]
・
2/15[木]

奄美群島などへの油状物質の漂着に関する 環境副大臣との意見交換・知事現地視察



▲とかしき環境副大臣と三反園知事の意見交換

また、翌15日には、知事が奄美大島に赴き、奄美市の朝仁海岸で、海岸への漂着や回収の状況について説明を受けたほか、職員とともに砂のついた油の塊などの漂着物の回収作業を行いました。



▲状況説明を受ける三反園知事
(奄美市の朝仁海岸)

屋久島、十島村全島、奄美群島などにおいて、1月28日以降、油状物質の漂着が確認されました。
このことについて、2月14日に、とかしき環境副大臣と三反園知事が県庁で意見交換を行い、環境省と県が連携しながら回収作業に全力で取り組んでいくことを確認しました。

2/16[金]
▼
2/22[木]

みんなで巨大「西郷どん」を創ろう



▲夢・未来のメッセージが書き込まれた「西郷どん」

会場では、西郷どんのグッズ販売や、ゆるキャラ大相撲なども行われ、多くの方に楽しんでいただきました。
会場では、西郷どんのグッズ販売や、ゆるキャラ大相撲なども行われ、多くの方に楽しんでいただきました。



▲桜島を見つめる巨大「西郷どん」

アミュプラザ鹿児島のアMU広場において、明治維新150周年記念イベント「みんなで巨大『西郷どん』を創ろう」を開催しました。
明治維新150周年を迎えた鹿児島を「オール鹿児島」で盛り上げようと、県内39校の小学校の子どもたちや、会場にいられた約5000人の方が、それぞれの「夢・未来」のメッセージを書き込み、1週間かけて高さ14メートルの巨大西郷どんを完成させました。

3/4[日]
・
3/25[日]

都城志布志道路(有明北IC～有明東IC)開通 北薩横断道路(きららIC～中屋敷IC)開通



▲北薩横断道路(きららIC～中屋敷IC)開通式

両道路の開通当日はテープカットや通行初めが行われ、開通を祝いました。また、開通前に開催されたウォーキング大会には、地域住民など多くの方が参加し、楽しいひとときを過ごしました。
両道路の開通当日はテープカットや通行初めが行われ、開通を祝いました。また、開通前に開催されたウォーキング大会には、地域住民など多くの方が参加し、楽しいひとときを過ごしました。



▲開通記念ウォーキング大会
(都城志布志道路)

3月4日に都城志布志道路の有明北ICから有明東IC(4・3キロメートル)が、25日には、道路トンネルとしては県内最長となる北薩トンネル(4850メートル)を含む北薩横断道路のきららICから中屋敷IC(6・9キロメートル)がそれぞれ開通しました。
今回の開通により、所要時間の短縮や走行性の向上も図られることから、物流のさらなる効率化が期待されます。

3/20
[火]

知事による高等学校表彰



▲今回受賞された5校の代表生徒の皆さん

受賞校を代表して、鹿屋農業高校の西元彰吾さんが「先輩方の功績を引き継ぎ、研究や実習に励んでいきたい」と今後の決意を述べました。



▲三反園知事から代表生徒への表彰状授与

「第6回e-c-o-o-1グランプリ」で最優秀賞にあたる内閣総理大臣賞を受賞した県立鶴翔高校など、平成29年度に開催された全国規模の大会やコンテストで、優秀な成績を収めた高校に対する県知事表彰が行われました。

今回は、鶴翔高校、鹿屋農業高校、市来農芸高校、鹿児島水産高校、池田学園池田高校の5校が受賞し、三反園知事から各学校の代表生徒に表彰状が授与されました。

3/23
[金]

桜丘養護学校の知事視察



▲養護学校内を視察

今回の視察状況を踏まえ、知事から、鹿児島市南部地区に高等部を含めた特別支援学校を整備する方針が表明されました。



▲保護者の方々との意見交換会

三反園知事は県立桜丘養護学校の学習環境の現状を確認するため、県議会議員の各会派代表らとともに視察を行いました。

桜丘養護学校は、児童生徒数の増加による施設の狭さや高等部がないことが永年の課題となっています。

保護者の方々を交えた意見交換会では、桜丘養護学校を移設し、高等部のある特別支援学校の早期整備を求める声が相次ぎました。

3/28
[水]

世界文化遺産VR・ARスマートフォンアプリ完成



▲アプリ完成発表会で実際にアプリを使用する三反園知事

県では、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の県内構成資産である「旧集成館」、「関吉の疎水溝」、「寺山炭竈跡」の幕末当時の操業の様子をVR(仮想現実)、AR(拡張現実)の技術で再現した無料のスマートフォンアプリを公開しました。

このアプリを使うことで、島津斉彬が始めた「集成館事業」に深く関係する資産の当時のたたずまいや、反射炉などが実際に動く様子を来訪者が現地でも体感できるようになりました。

ぜひ、このアプリをダウンロードして、日本の近代化のさきがけとなった「集成館事業」を実際に体験してみてください。



▲アプリのダウンロードはこちらのQRコードから